

# 1980年度水理実験センター施設利用状況

(1981年2月28日現在)

	教 育 関 係	研 究 関 係		
学 群	1. 地形営力論講義受講者	10人×1回= 10	卒業研究利用者	利用期間
	2. 地形営力論実験受講者	7人×20回=140	自然学類	7人(4ヶ月~12ヶ月)
	3. 水文学実験受講者	6人×1回= 6	3年生	
	4. 環境計測学受講者	30人×1回= 30	自然学類	2人(2ヶ月~3ヶ月)
	5. 地球科学基礎論実験受講者	29人×1回= 29		
	6. 農林学類実験受講者	30人×1回= 30		
	7. 地形学演習受講者	15人×3回= 45		
	8. 応用水文学受講者	12人×1回= 12		
		小 計 302		小 計 9人
大学院	1. 地形学特論受講者	25人×3回= 75	地球科学研究科	5人(3ヶ月~12ヶ月)
	2. 地形学特講受講者	5人×1回= 5	教育研究科	1人(6ヶ月)
	3. 水収支論特講受講者	10人×3回= 30	環境科学研究科	2人(11ヶ月~12ヶ月)
	4. 水文学特論受講者	6人×3回= 18		
	小 計 128		小 計 8人	
教 官	1. 地形営力論講義	1人×1回= 1	地球科学系	1人(通 年)
	2. 地形営力論実験指導	2人×20回=40	農林工学系	1人(4ヶ月)
	3. 水文学実験指導	1人×1回= 1		
	4. 環境計測学講義	1人×1回= 1		
	5. 地球科学基礎論実験指導	1人×1回= 1		
	6. 農林学類実験指導	1人×1回= 1		
	7. 地形学演習指導	1人×3回= 3		
	8. 応用水文学講義	1人×1回= 1		
	9. 地形学特論講義	1人×3回= 3		
	10. 地形学特論講義	1人×1回= 1		
	11. 水収支論講義	1人×3回= 3		
	12. 水文学特論講義	1人×3回= 3		
	小 計 59		小 計 2人	
その他	見学者		地球科学系技官	1人(通 年)
	1. 気象研究所	10人	地球科学系研究生	1人(11ヶ月)
	2. I G U-I H P シンポジウム	50人		
	3. お茶の水女子大学地理学教室	23人		
	4. 科研費総合A(航空)	35人		
	5. 青島山東海洋学院	10人		
	6. 宇都宮農業高校農業土木科	81人		
	7. J. I. C. A	20人		
	8. 香港大学生 助手他	52人		
	9. 農林学基礎演習	20人		
10. その他の見学者	92人			
	小 計 393人		小 計 2人	
	総 計 22件 882人		総 計 21件 21人	

主 な 行 事

年 月 日	記 事
1980. 2. 4	第1回データ変換装置 (MELCOM 70/25) 講習会開催
2. 29	昭和54年度第4回水理実験センター運営委員会開催 出席者：井口, 古藤田, 椎貝, 鈴木, 高山, 吉野 議 題：昭和54年度会計報告, 利用状況, 55年度運用方針について
3. 26	第2回データ変換装置講習会開催
3.	熱収支・水収支観測資料集 (第1号) 刊行
3.	仮設実験小屋増設
3.	“筑波大学水理実験センター報告” (第4号) 刊行
6. 26	昭和55年度第1回水理実験センター運営委員会開催 出席者：井口, 吉野, 高山 議 題：昭和55年度予算執行 (案), 運用計画, 昭和56年度概算要求について
8. 4~ 8.9	熱・水収支関係特別観測
8.	施設紹介用パンフレット「筑波大学水理実験センター」(和文・英文) 印刷 大型水路実験 (掃流砂流送実験)
8. 28	I G U— I I P シンポジウムによるセンター見学
10. 1	文部技官 川又良一の辞職承認
11. 1~2	筑波大学一般公開参加, 見学者 125人 公開事項：大型水路による砂礫流送実験, 熱・水収支圃場及びデータ集録室, 流れの可視化による計測方法
11. 16	文部技官 泉 耕二が準研究員扱となった
11. 19	昭和55年度第2回水理実験センター運営委員会開催 出席者：井口, 吉野, 高山, 鈴木, 古藤田 議 題：昭和55年度設備費, 営繕工事, 業務報告, 技官人事について
12. 1	文部技官 (準研究員) 林 陽生が地球科学系助手に配置換となった
12. 19	昭和55年度年次研究報告会開催, 発表者：18名
1980年10月~ 1981年3月	大型水路実験 (砂礫堆の形状特性に関する実験)